高圧洗浄機

Nilfisk ALTO
works for you

取扱説明書

＜モデル＞

ポセイドン

Poseidon 5-47PA & 7-67FA



Nilfisk
trusted since 1906

ニルフィスクアドバンス株式会社

2012.09

この度は、Nilfisk ALTO 高圧洗浄機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本書は、高圧洗浄機の正しく安全な取り扱い方法並びに日常の点検や保守管理について説明したものです。
本機をご使用になる前によくお読みいただき本機の正しい使用方法をご理解し、大切な機械を安全に末永くご愛用下さい。

また、本書の説明以外にご不明な点がございましたら、お買い上げ店にお問い合わせ下さい。

【 目 次 】

＝NILFISK-ALTO社の環境に取り組む姿勢＝
＝本機をお使いになる前に本書をよくお読み下さい＝
＝使用上の注意事項/全般＝ 頁

1．0 モデル別の推奨稼動時間と業種 …… 4
2．0 準備に先立って …… 5
※※ オートスタート・ストップ装置 ※※ …… 5
3．0 各部の名称 …… 6
4．0 始動の前に …… 7
4.1 本機のセットアップ …… 7
4.2 ポンプオイル量のチェック …… 7
4.3 洗剤の充填 …… 8
4.4 高圧ホースの取付け接続 …… 8
4.5 給水ホースの接続 …… 8
4.6 電源コードの接続 …… 9
5．0 運転 …… 10
5.1 ランスとスプレガンの接続 …… 10
5.2 始動・スイッチオン …… 10
5.2.1. 水道水からの給水 …… 10
5.2.2. 自吸モードで使用 …… 10
5.3 吐出圧の調節 …… 12
5.4 吐出水量の調節 …… 12
5.5 洗剤を使う …… 12
5.6 本機を吊り上げる …… 13
6．0 本機使用後 …… 14
6.1 スイッチオフ …… 14
6.2 給水ホース、電源プラグを外す …… 14
6.3 高圧ホースをハンドルに掛け、 …… 14
6.4 電源コードの接続巻き取り …… 14
6.5 冬季間の保管 …… 15
7．0 メンテナンス …… 16
7.1 メンテナンスの時期 …… 16
7.2 メンテナンス作業 …… 16
7.2.1. 給水口フィルタの清掃 …… 16
7.2.2. ポンプオイル量の点検 …… 16
7.2.3. ポンプオイルの交換 …… 17
8．0 故障と対処 …… 18
9．0 主要諸元 …… 19
10．0 アフタサービスと保証について …… 20

＝Nilfisk ALTO社の環境に取り組む姿勢＝

ISO9001認定のALTO社の生産工場では、環境への影響を最小限に抑える事を当然の事と考えています。更に、資源の有効利用を第一義にとらえ、プラスチック部品はリサイクル可能なポリプロプレインを早くから採用しています。そして、それらリサイクル可能なコンポーネント部品には、リサイクル可能を表すシンボルマークが刻印されております。
当然の事ながら、製品の最終テストに工場で使われる水も再利用されています。

＝本機をお使いになる前に本書をよくお読み下さい＝

本機は、高圧のウォータジェットを作り出す高圧ウォータクリーナです。
安全に関する禁止事項・注意事項をお守りいただかないと重大な事故につながります。
あなた自身、周囲の人の怪我、物や本機そのものゝ損傷をまねかないように、本書の内容を完全に理解して下さい。

危険 :**その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う事があります。**
警告 :**その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があります。**
注意 :**その警告に従わなかった場合、怪我を負う恐れがあります。**
⚠ :**重要な注意・推奨・お願い事項です。**

＝使用上の注意事項/全般＝

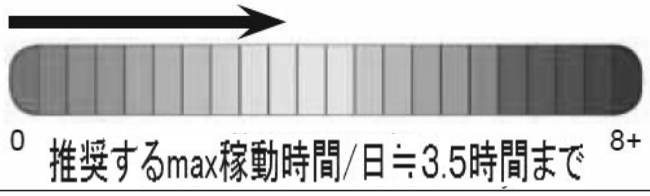
開梱後、機械に異常がない事を確認下さい。もし、何か異常を発見した場合には、お買い上げ店にご連絡下さい。

① 危険 高圧ジェットを人や動物、電気器具、本機等に直接当てないで下さい。
② 警告 作業中は、目に異物が入らないように防護眼鏡の着用して下さい。
③ 注意 裸足やサンダル履きで作業しないで下さい。
④ 注意 作業中オペレータや作業現場近くの人は、弾け飛ぶ土砂や破片を避けられるよう注意して下さい。
⑤ ⚠ 本機は洗浄作業現場から出来るだけ離れた所に置いて下さい。
⑥ ⚠ オペレータは、本機を熟知している人に限って下さい。
⑦ 注意 高圧ホースを装着しないで本機をスタートさせないで下さい。
⑧ 警告 作業中は、ガン・ランスにスラスト方向の大きな力が掛かりますので両手でしっかりと保持して下さい。
⑨ 注意 事故防止のために作業中断中は、本機を止めて、ガンの引き金の安全ロックをして下さい。
⑩ 警告 引き金は必ず手で操作して下さい。何かで引き金を固定する事は絶対にしないで下さい。
⑪ 注意 高圧ホースにダメージを与えないように車で轢いたり、潰したり、強く引っ張ったり、結んだりしないで下さい。また、オイル、鋭利な物、熱い物に近づけますと高圧ホースのバーストの原因になります。
⑫ 危険 本機が動いている時は、高圧ホースや給水ホースを外さないで下さい。本機を止め給水栓を止めて一度ガンを握ってから高圧ホース、給水ホースを外して下さい。
⑬ 危険 爆発の危険（引火性のある粉塵等）のある所では絶対に本機を使用しないで下さい。
⑭ 警告 高圧ホース、ノズル、コネクタ類は安全作業に非常に重要です。ALTO純正品以外は使わないで下さい。
⑮ 注意 アクセサリ、補修部品もALTO純正品を使って下さい。
⑯ 注意 作業中は本機をシート等で覆わないで下さい。ポンプ、モータ類の冷却に支障をきたします。
⑰ 注意 凍結させてしまった時は、絶対に本機を始動しないで下さい。本機がダメージを受けます。本機、高圧ホース、ガン、ランスを温めて凍結を解除して下さい。
参考：凍結解除の目安は、本機を始動させないで、水道圧でガンから水が出てくるようになったら概ね解除と判断出来ますが、凍結により何処かに歪みが残る事がありますので、早めに点検をお勧めします。

1.0 モデル別の推奨稼動時間と業種

1.1 推奨するmax稼動時間/日

ニルフィスク・アルトでは、ユーザの日々の高圧洗浄機の作業時間を目安にそれに適合させた機械をデザイン・製造しております。
次の表は、Poseidonシリーズの１日当たりの推奨max稼動時間を示しています。

POSEIDON 5	
POSEIDON 7	

1.2 業種

この高圧洗浄機は、次の代表的な業種における業務使用に適合するようにデザインされています。

- 農業
- 産業
- 輸送
- 車輌
- 自治体
- 清掃
- 建設
- 食品
- その他

高圧洗浄機は、常に本取扱説明書に記載された内容に従ってご使用下さい。
誤ったご使用は、本機自体や洗浄対象物の表面にダメージを与えたり、人への深刻な傷害の原因になり兼ねません。

2.0 準備に先立って

始動前に本書をよく読み本機を正しくご理解いただき、作業の安全にご留意下さい。

2.1 準備に先立って :

①初めて本機を使用する際は、本機に異常やダメージがない事を慎重にチェックして下さい。
②異常やダメージがありましたら、直ちに販売店にお知らせ下さい。

⚠ 危険 安全作業のために

① 高圧ジェットは、大変危険です。人、動物、電気器具・機器、本機に決して向けないで下さい。
② 作業者自身、また、作業現場近くにいる人は、洗浄作業場から飛び散る破片から身を守る装備、防護眼鏡を装着して下さい。



③ 自分自身や他の人の衣服や履き物を本機で洗わないで下さい。
④ 粉塵等爆発の危険のある場所では本機をご使用にならないで下さい。



⑤ アスベストを高圧洗浄する事は、禁止されています。

※※ オートスタート・ストップ装置 ※※

本機には、”オートスタート・ストップ（ASS）”装置が搭載されています。
作業中にスプレガンを閉じると、約20秒後に本機は自動的に停止します。
この時の本機は、スタンバイ状態です。その状態でスプレガンの
引き金を握ると自動的に始動し作業を継続できます。
無駄な空運転をなくする省エネ装置です。



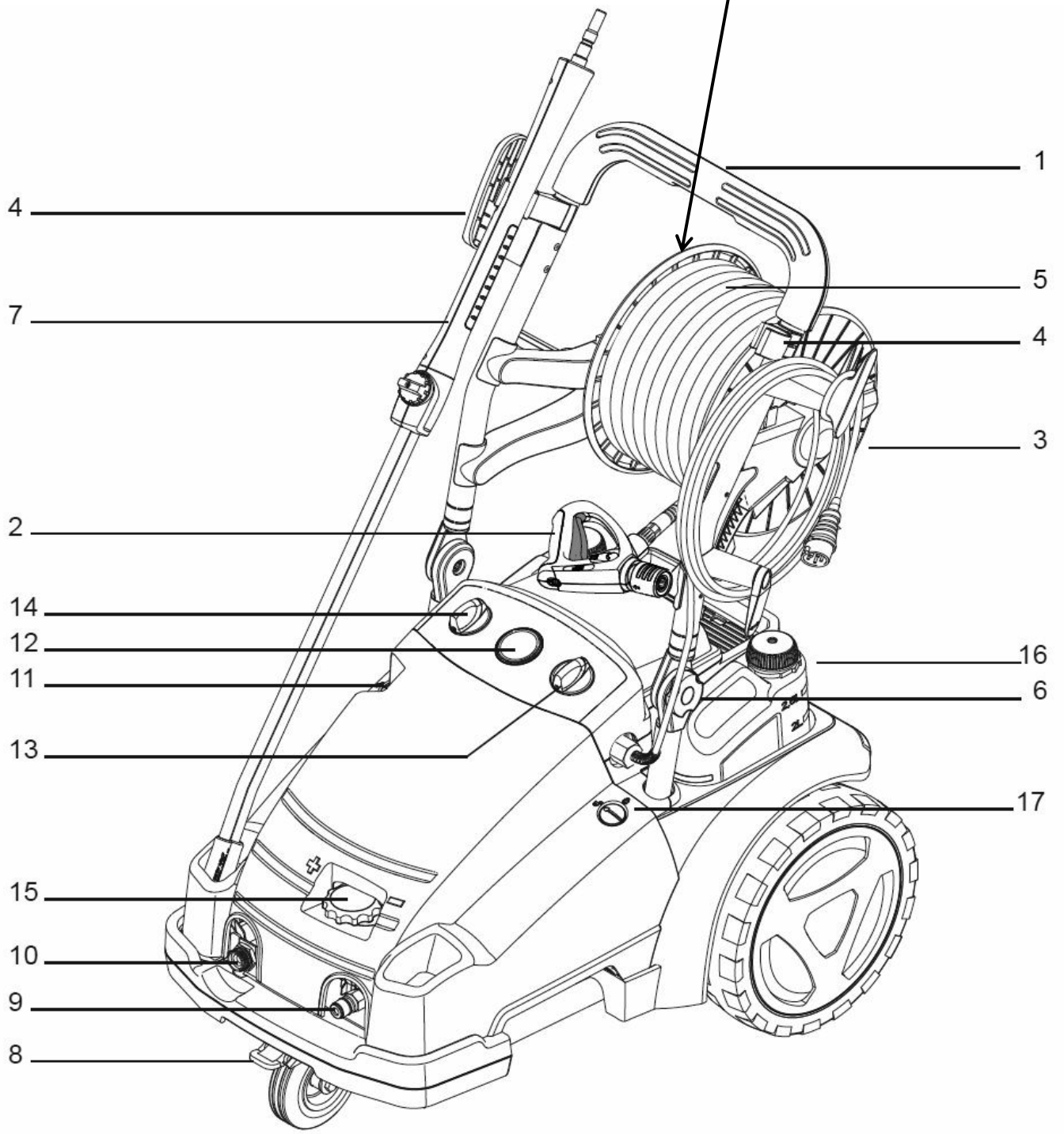
⚠ 危険

オートストップで本機が停止している時は、**スタンバイ状態**です。
そのまま本機から離れて、誰かが引き金を握ると本機は自動的に始動します。
大変危険です。
作業が終わり、あるいは一時的にもオペレータが本機から離れる場合は、
必ず、本機のメインスイッチを切って本機を止め、一度ガンを握り本機内の残圧を
抜いて下さい。

3.0 各部の名称

1）ハンドル
2）スプレガン
3）電源コード
4）高圧ホースホルダとランスホルダ
5）高圧ホース
6）ハンドル固定ノブ
7）ランス
8）キャスタブレーキ
9）吐出口ニップル
10）給水口（フィルタ装備）
11）オイル点検窓
12）圧力計
13）メインスイッチ
14）洗剤量調節ダイヤル
15）吐出水量調節ノブ
16）洗剤タンク
17）カバーロック

※※ホースリールは、オプションです。

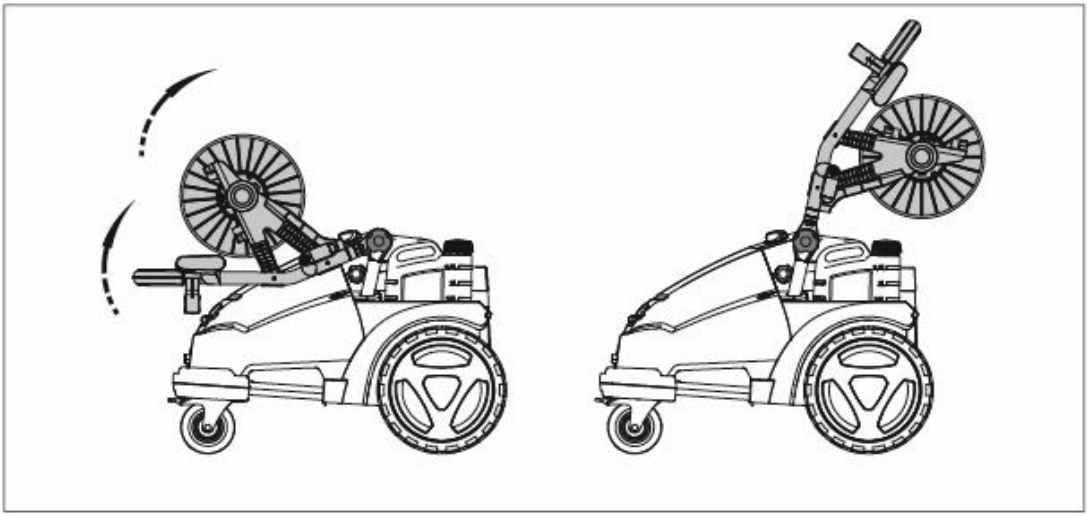


仕様・外装は、予告なく変更する事があります。

㊟ 以降本書の説明図は、オプションのホースリール付きのイラストとなっております。

4.0 始動の前に

4.1 本機のセットアップ

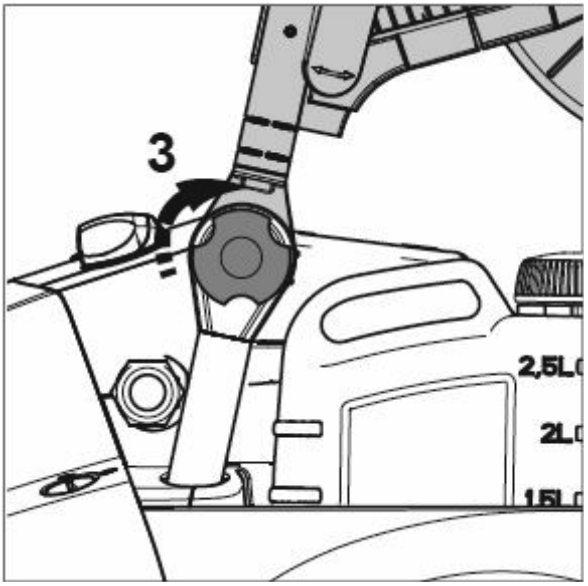


⚠ 注 意

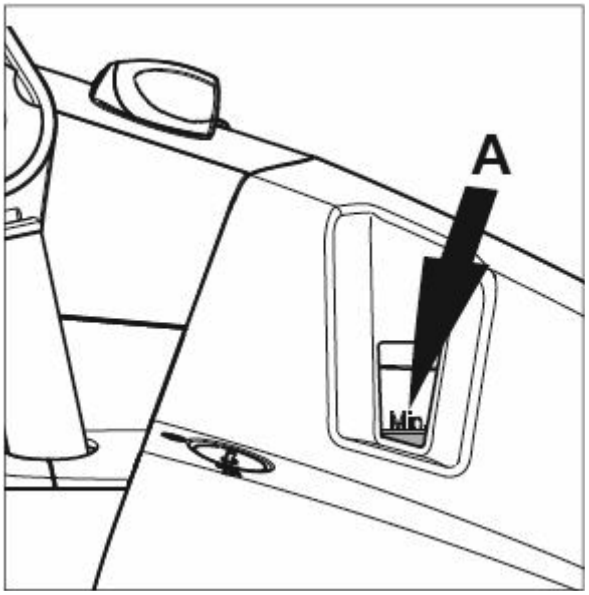
決して本機を一人で持ち上げないで下さい。
必ず、誰かの助けを借りて二人で持ち上げて下さい。

1）初めて本機を使用する前に本機を注意深くチェックして、異常やダメージの有無を確認して下さい。
2）異常やダメージが確認された場合は、直ちに購入店にご連絡下さい。

3）ハンドル固定ノブを緩めて、作業位置にしロックして下さい。



4.2 ポンプオイル量のチェック



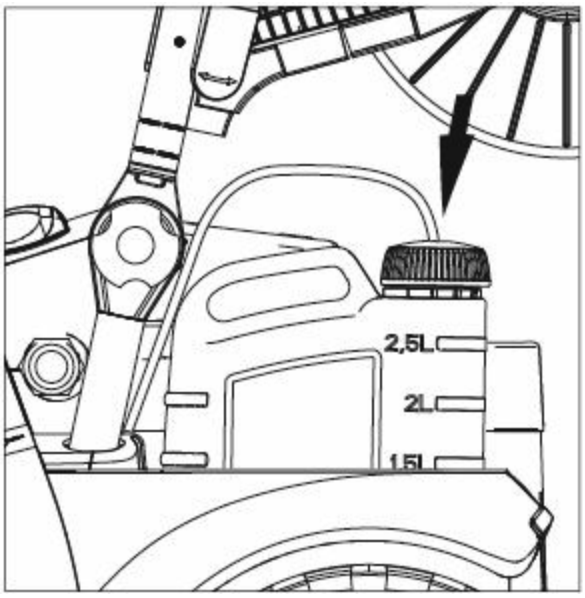
4）本機が冷えている時に平らな場所でオイルの量が(A)”**MIN**”以上でなければなりません。
少ない場合は補充して下さい。

オイルの種類については、”**主要諸元**”の項を参照下さい。

4.3 洗剤の充填

1）洗剤タンクに洗剤をします。

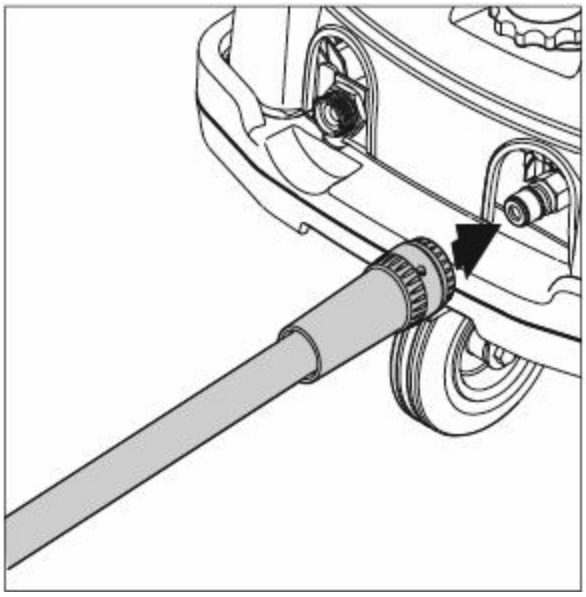
2）付属のフィルタ付き洗剤ホースを洗剤タンクキャップの穴に通して取付けます。



4.4 高圧ホースの接続

1）高圧ホースを本機吐出口ニップルに差込みます。

㊟ 高圧ホースを延長した場合
最長で全長”50m”までとして下さい。



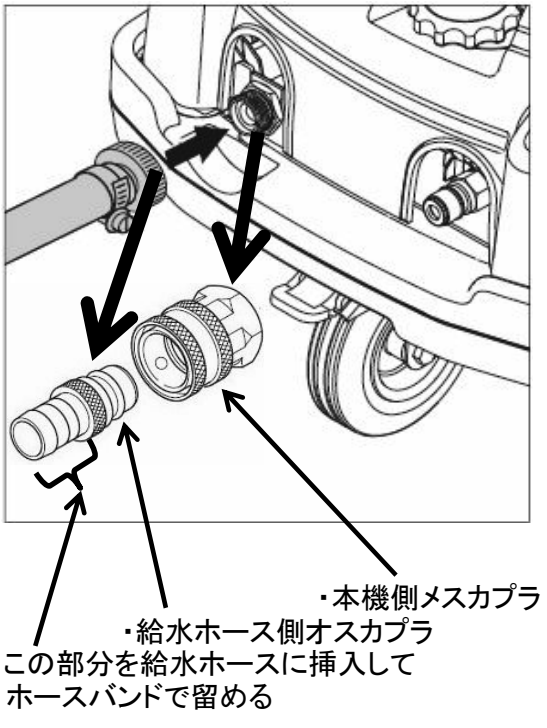
4.5 給水ホースの接続

1）給水ホース(++) に水を注いで内部の異物を洗い流して下さい。

2）給水ホースを本機の給水口も接続する。

3）水栓を開く。

(++) 給水ホースは、ユーザで準備下さい。
内径 3/4”（φ19）で、網目の入った丈夫なホースをお勧めします。
長さは、**6m以上**として下さい。



使用水に異物（砂気等々）の混入が認められる場合は、別売のフィルタを取り付けて下さい。

4.6 電源コードの接続

1）電源プラグは、ユーザの差込みに合う”**アース付き4爪防水タイプ**”のものを準備下さい。

①電源プラグは、本機の消費電流に対応するものを使って下さい。
Poseidon 5-47PA＝20Amp
Poseiodn 7-67FA＝30Amp

容量不足のプラグは、発熱、プラグ爪が解ける等、トラブルの原因になり、しいては本機に重大なダメージを与える場合があります。
Poseidon 6＆7 は、絶対に20Amp仕様のプラグでは使わないで下さい。

②コードとプラグ爪の接続は、容量の合った圧着端子でしっかりと取付けて下さい。
コードを手でよじって、爪に取付けるのは、接触不良の原因となります。
必ず、容量の合った圧着端子を使って下さい。

③アース線は、必ず付けて下さい。

危 険

アース線は、”**緑色**または、**緑/黄の縞**”です。
これをプラグのアース爪（他の爪より長い、あるいは形状が違う、アースマークが刻印）に取付けて下さい。

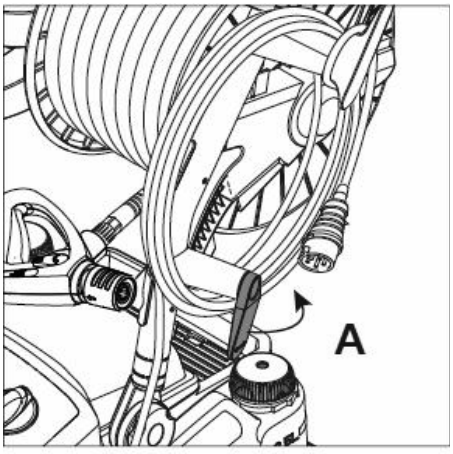
④プラグ爪と接続する電源コードの色
アース線”**緑色**または、**緑/黄の縞**”のみ間違いなくアース爪に取付けで下さい。
本機は、モータの回転方向のチェックの必要はありません。
アース線以外の残りの3本線は、コードの色に関係なく任意の爪に取付けて下さい。



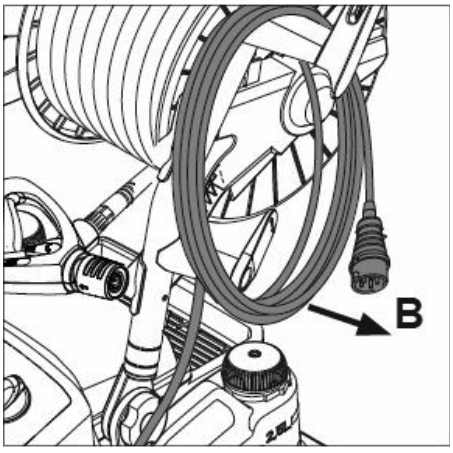
断線、接触不良の原因になります。
電源プラグを抜く時は、コードを引っ張らずに
必ず、プラグを持って抜いて下さい。

注 意 **濡れた手は厳禁です。**

2）電源コードの引き出し



1. コードフックの下側（A）を回します。



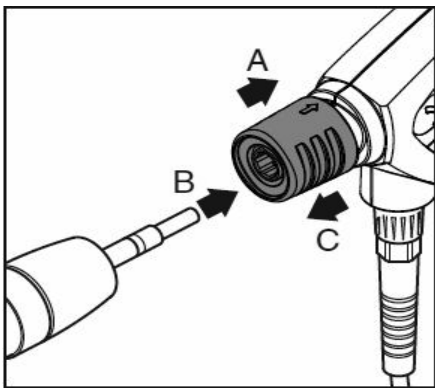
2. コードを束のまま引き出します。

3. 回したフックを元に戻します。

コードリール巻きの延長電源コードを使っている場合は、発熱防止のためリールからコードを全て出して下さい。

5.0 運転

5.1 ランスとスプレガンの接続



① スプレーガンの先端の青色カプラ(A)を手前に引いて保持します。
② スプレーランスのニップル(B)をカプラに差込みます。

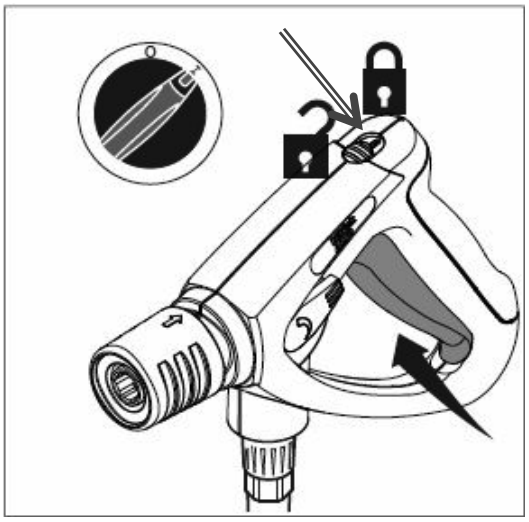
③ スプレーガンのカプラから手を放す(C)とカプラが戻り固定されます。

※ 以上で接続完了ですが、念のため、スプレーランスを前方に引っ張り、確実に接続された事を確認します。
(他のアクセサリの接続も同様です。)

スプレーランス(他のアクセサリも)ニップル(B)に付着した異物はノズル詰まりの原因になります。
装着前には必ず、ニップルに水をかけて、異物を洗い落とす事を習慣付けて下さい。

高圧ホース、ノズル、コネクタ類は安全作業に非常に重要です。
Alto純正品以外は使わないで下さい。

5.2 始動・スイッチ オン



5.2.1. 水道水からの給水

1) 水栓を開く。

2) メインスイッチを(Ⅰ)の位置に回す。

3) スプレガンの安全ロック(矢印)を外して、ガンの引き金を引く。

4) 安全のために短時間でも本機から離れる時は、安全ロックを掛けるよう習慣付けて下さい。

① 始動時は、システム内のエアー抜きのためにスプレガンを2、3回開閉して下さい。
② スプレガンを閉じて、噴射を止めた状態が**20秒程**続くと本機は自動的に停止します。
この時、本機のメインスイッチは完全なオフではありません。
本機は、スタンバイ状態です。 ガンを開くと本機は自動的に再始動します。
これは、本機に装備の**"オートスタート・ストップ装置(ASS)"**の働きによるものです。

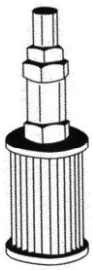
Poseidon 7-67FA の場合。
このASS装置が正しく作動するためには、**150KPa(1.5kgf/cm²)以上**の給水圧が必要です。
通常の水道はほぼ問題ありませんが、地下水等をポンプで汲み揚げている場合は、水圧のチェックが必要な場合があります。

㊟ 150KPa(1.5kgf/cm²)以上の給水圧が得られない場合は、事項の"自吸モード"でのご使用となります。

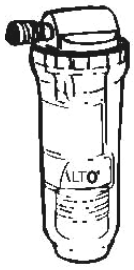
危 険 安全のために"2.0 準備に先立って"の**※※オートスタート・ストップ装置※※**の項をご覧頂き、ASSの機能をご理解下さい。

5.2.2. 自吸モードで使用 ……溜め水等を自吸する

1）溜め水には砂気等の異物が混入しています。
システム保護のために必ず別売のいずれかのフィルタを装備して下さい。



サクション
フィルタ
6400000



サンドフィルタ
機種により品番が異なる



インラインフィルタ
301000173



サクションフィルタ
給水ホース（4.5m）付き
61256

2）本機を長期間使わずに保管しておいた場合、システム内がドライの状態になります。
そのような場合や自吸運転の最初に自吸しにくい事があります。
使い始めは、給水ホース内に水を満たしてから本機に接続すると自吸がスムーズに始まり一度システム内に水が通ると以後は自吸がスムーズになります。

3）始動時はシステム内のエアー抜きのためにスプレガンを2、3回開閉して下さい。
この時、ランスを付けずにスプレガンのみで行って下さい。

㊟ 自吸高さは、機種により異なります。主要諸元の項を参照下さい。

A） Poseidon 5-47PA

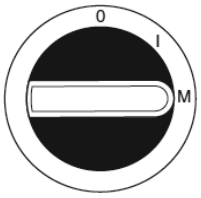


① メインスイッチをオン（Ｉ）に回します。

② スプレガンの安全ロック（矢印）を外して、
ガンの引き金を引く。

スプレガンを閉じて、噴射を止めた状態が**20秒程**続くとASS装置が作動して、
本機は自動的に停止します。
この時、**本機はスタンバイ状態です。**ガンを開くと本機は自動的に再始動します。

B） Poseidon 7-67FA



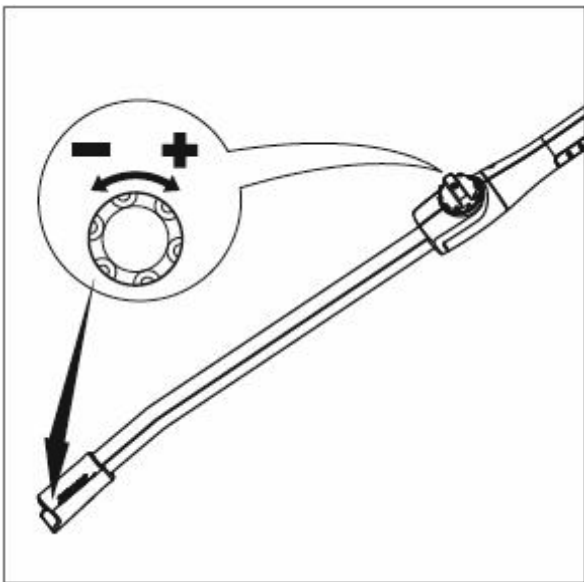
① メインスイッチをオン（M）に回します。

② スプレガンの安全ロック（矢印）を外して、
ガンの引き金を引く。

スプレガンを閉じて、噴射を止めた状態が**数分間**続くとASS装置が作動して、
本機は自動的に停止します。
この時、**本機は完全にスイッチオフ状態**になっています。
その状態でガンを開いても本機は再始動しません。
メインスイッチを一度切って入れ直して下さい。**M→O→M**

	Poseidon 7-67FA		
スイッチの位置	（Ｉ）	（M）	（O）
オートストップ	◎（約20秒後に停止）	◎（数分後に停止）	--
その時の本機の状態は	**スタンバイ**状態	完全に**スイッチオフ**	--
オートスタート	◎ガンを開→自動スタート	Xメインスイッチを入れ直す	--

5.3. 吐出圧の調節 …トルネードプラスランスで

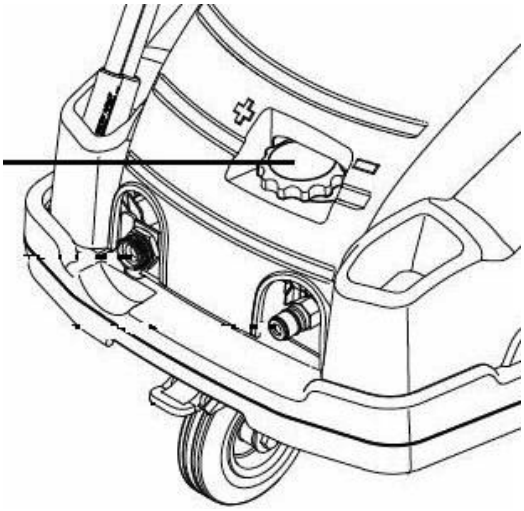


トルネードプラスランスには、高圧ノズル（下）と低圧ノズル（上）の2っのノズルがあります。

図のように吐出圧調節ノブを回して、最高圧から最低圧まで無段階に調節できます。

時計回り（＋） ＝高圧
反時計回り（−） ＝低圧

5.4. 吐出水量の調節 …本機で



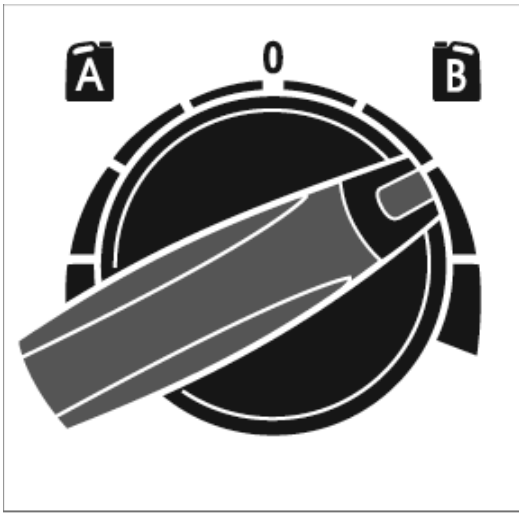
本機前上部の吐出水量調節ノブで水量調節ができます。
通常は、最高水量で使いますが、水量を減らして使いたい時に便利な機構です。

・ノブを（＋）側に回す：
水量増（吐出圧も上がる）。

・ノブを（−）側に回す：
水量減（吐出圧も下がる）。

作業時にいつもと圧が違うと感じた時は、先ず、この吐出水量調節ノブの位置をチェックして下さい。

5.5. 洗剤を使う



本機背面に2っの洗剤タンクが付いています。

① 洗剤は液体洗剤をご使用下さい。
② 洗剤をその取扱説明書に従って、適当な濃度に調節してから本機の洗剤タンクに入れて下さい。
③ 洗剤の吸引量は、ダイヤルで調節します。
④ 洗剤タンクは、ノブで（A）、（B)を選択します。

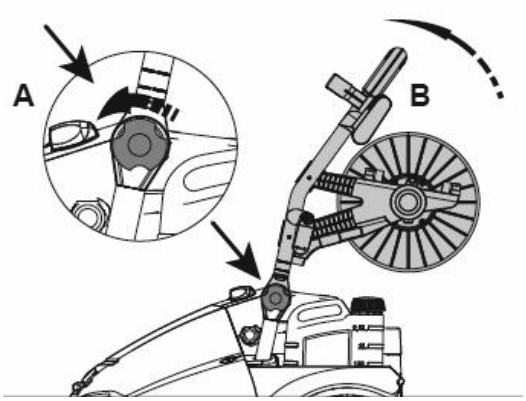
ランスで吐出圧を低くすると（5.5.3.項）洗剤が吸引されます。
高圧の状態では、洗剤は吸引されません。

吐出水量の調節（5.2.4.項）で水量を減らした低圧では洗剤は吸引されません。
その場合もランスで低圧にして下さい。

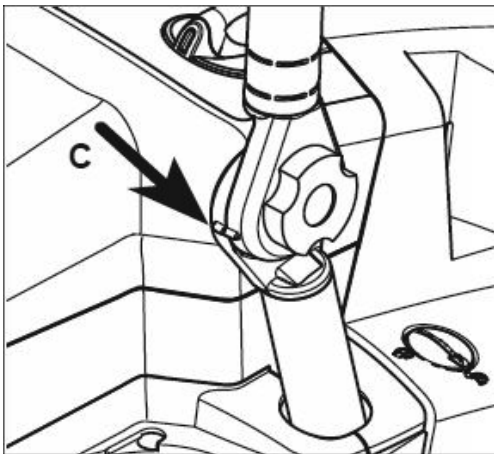
洗剤を吹き付けた後、洗浄対象物の表面で洗剤が乾くまで放置しないで下さい。
洗浄対象物の表面がダメージを受ける原因になります。
洗剤が乾く前に洗い流して下さい。

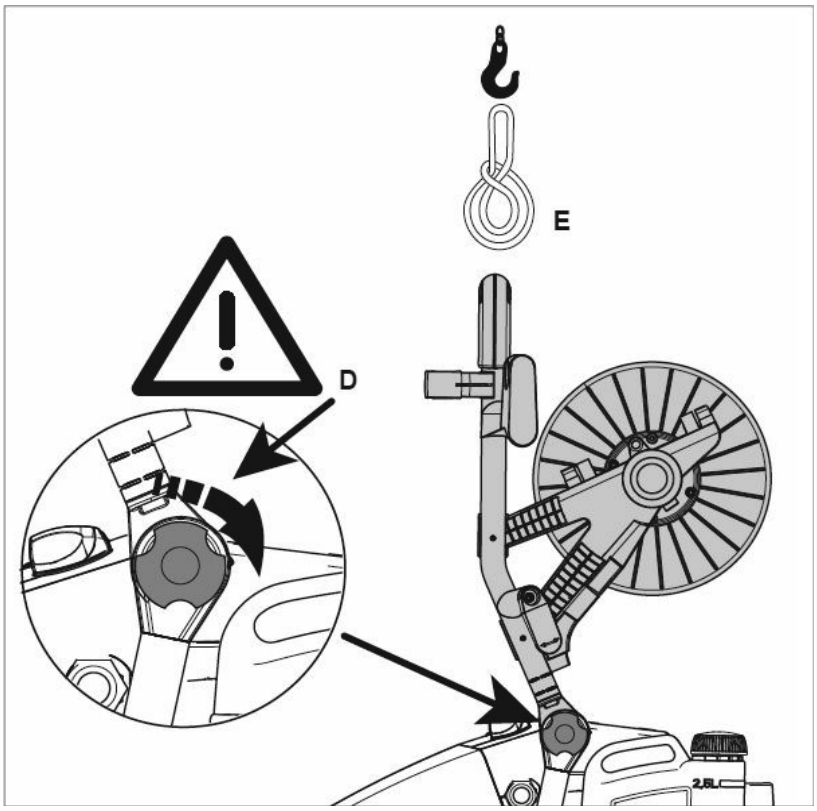
5.6. 本機を吊り上げる

① 吊り上げる時には、バランスを
とらなければなりません。
ハンドル固定ノブ(A)を緩め、ハンドル(B)
を少し前に押します。



② 2っのマークが一直線になる所(C)が
ハンドルの吊り上げ位置です。





③ ハンドル吊り上げ位置がずれ
ないように注意してハンドル
固定ノブ(D)を締めて下さい。

④ ベルトストラップ(E)をハンドル
のセンタに巻き付けて、フック
で吊り上げます。

⚠ 警 告 宙吊りの本機の下には絶対に入らないで下さい。

6.0 本機使用後

6.1 スイッチオフ



1）メインスイッチを”OFF”位置にする。

2）水栓を止める。

3）スプレガンを開いて、本機内の圧を抜く。

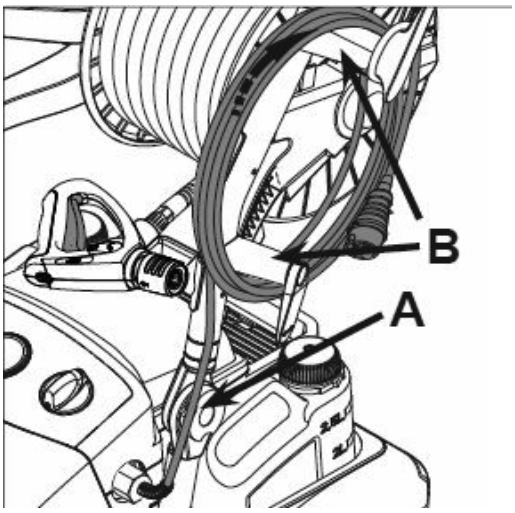
4）スプレガンの安全ロックを掛ける。

6.2 給水ホース、電源プラグを外す。

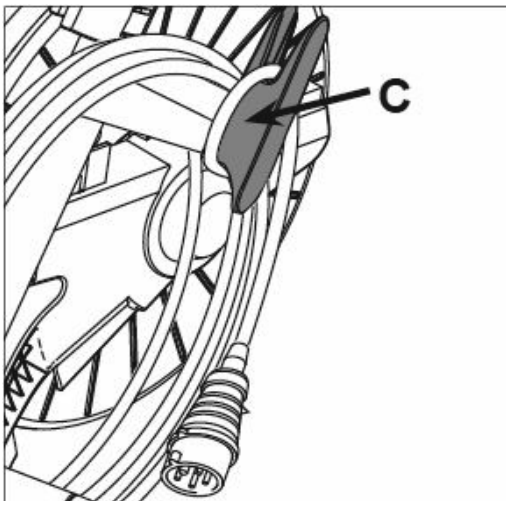
6.3 高圧ホースをハンドルに掛け、ランスをホルダに納める。

6.4 電源コードの巻き取り。

1）電源コードをハンドル固定ノブ（A)の前方の上側を通して時計回りにフック（B)に巻き取る。



2）電源コードの最後をフック（C)に巻き付けて巻いたコードが緩んでこないように固定します。



6.5 冬季間(0℃以下)の保管

冬季間は、凍結しない湿気のない場所に保管するか、以下のようにして下さい。

本機を氷点下になるような場所に格納する場合は、不凍液を循環させて下さい。

本機システム内の残水は、本機ポンプを回してもエアーコンプレッサで吹いても完全には抜き切れません。僅かな残水でも凍結すると大きなダメージの原因となります。
必ず、不凍液を循環させて下さい。特に、早春、晩秋の季節の変わり目には注意して下さい。

＜不凍液循環手順＞

1)不凍液を入れたタンク(4ℓ程)を準備します。
2)給水ホースを水栓から外します。
3)ランスを外し、高圧ホース、ガンを付けた状態で、本機のスイッチを入れ(Ⅰ)、できるだけ本機内の水を排出します。
㊟ これは、ドライ(空)運転に相当しますので、連続運転は3分以内にして下さい。
それ以上の連続運転はポンプのシール類にダメージを与える原因になります。
4)給水ホースを不凍液タンクに入れて、不凍液を吸引します。この時、システム内の各部に不凍液を行き渡らせるためにガンの開閉を2～3度繰り返して下さい。
5)ガンから不凍液が出て来たら、給水ホースを不凍液タンクから抜いて吸引を止めます。
次にガンを不凍液タンクに向けて、吸引した不凍液を回収します。
回収は神経質になる必要はありません。本機内に残っていてもそれは不凍液ですから。

回収した不凍液は、何回か再利用出来ますが、ゴミの混入と不凍液の濃度には注意下さい。
本機内の残留水で不凍液の濃度が段々薄くなっていきます。

保管後、機械を使う場合は、念のため、暖かい場所で本機を温めてからの始動をお勧めします。

使用後の不凍液は、法令に従って適正に処理して下さい。

注 意

万が一凍結させてしまった場合は、絶対にそのまま本機を始動せずに、暖かい場所で**ゆっくりと**凍結を解いて下さい。
凍結の状態で本機を始動する事は、大変危険ですし、本機に重大なダメージを与える事があります。
凍結を解いても凍結の状況により歪みが生じている事があります。早目の点検をお奨めします。

保証期間内であっても、凍結に起因する故障は、保証対象外です。

7.0 メンテナンス

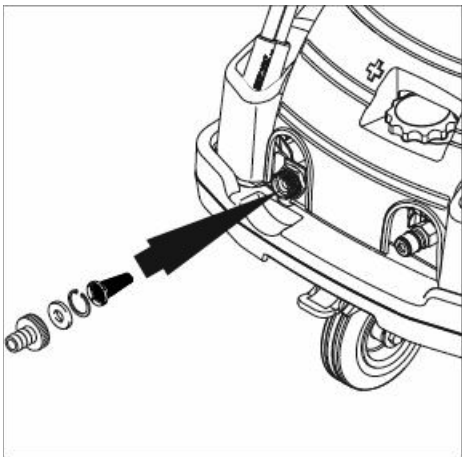
7.1 メンテナンス時期

		毎週	最初の交換/清掃 稼動 50時間 後	500時間 稼動 毎	適時
7.2.1	給水口フィルタの清掃	●			●
7.2.2	ポンプオイル量の点検	●			
7.2.3	ポンプオイルの交換			●	
7.2.4	ドレンプラグマグネットの交換/清掃		●		●

7.2 メンテナンス作業

7.2.1 給水口フィルタの清掃

給水口には、ポンプにゴミや異物が入り込まないようにフィルタが装備されています。



① 給水口のカプラを外します。

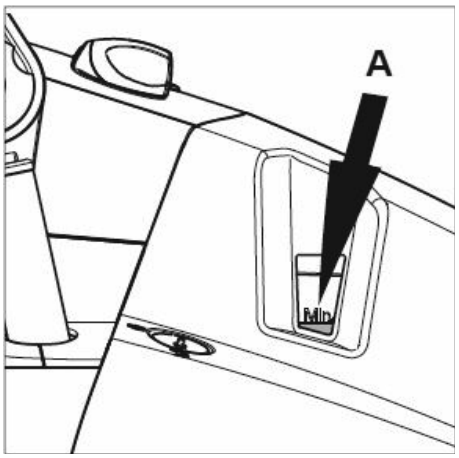
② フィルタを外し、清掃します。
必要であれば交換します。

フィルタを外しての作業は絶対しないで下さい。

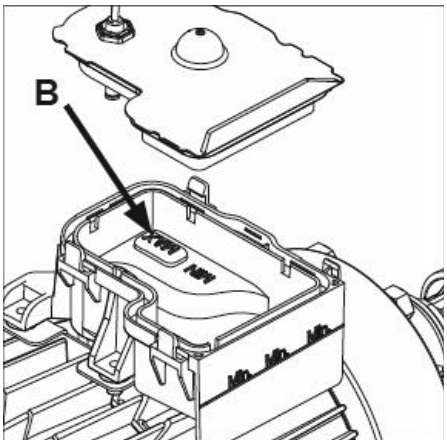
保証期間内であっても、給水フィルタを取り付けない事に起因する故障は保証対象外です。

7.2.2 ポンプオイル量の点検

① 作業前後には、必ずオイル量を点検して下さい。
オイル量は、オイルが冷えている状態、平らな場所で”MIN(A)”以上でなければなりません。



② オイル量が不足している時は、”MAX(B)”まで補充して下さい。



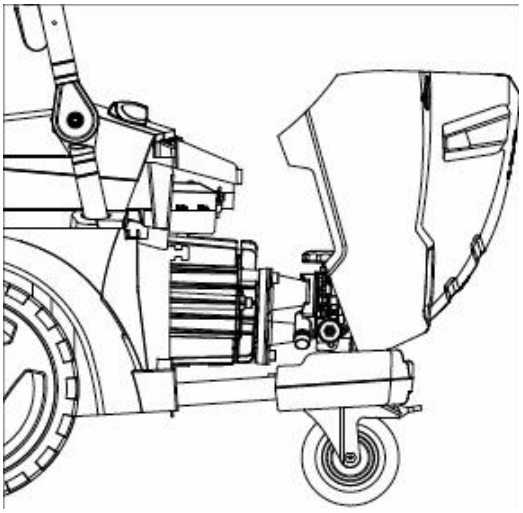
㊟ 使用オイルの種類については、”主要諸元”で確認して下さい。

保証期間内であっても、ポンプオイル不足に起因する故障は保証対象外です。

7.2.3　ポンプオイルの交換

① オイル交換の前に本機を温めて下さい。

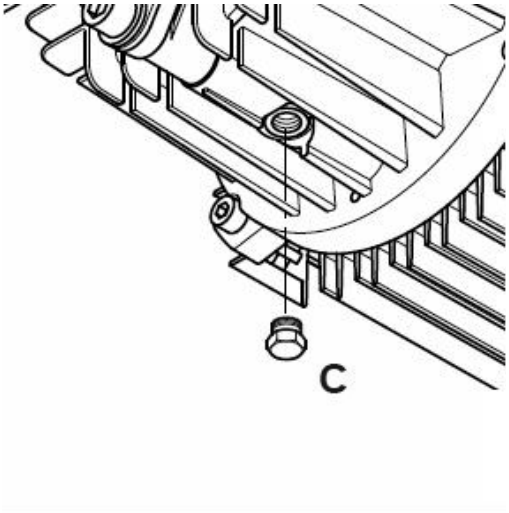
② キャビネットを外します。



③ ドレンプラグ（C)を緩めて外します。
ドレンプラグのマグネットに付着して
いる金属片・粉を布/紙ウエスで清掃
します。
オイルをコンテナ（1ℓ以上）に抜き取り、
法令に従って処理します。

④ ドレンプラグを取付け、オイルを入れます。

㊟ 使用オイルの種類については、”主要諸元”で
確認して下さい。



⑤ オイル量は、平らな場所で”MIN”以上
”MAX”までの入れて下さい。

⑥ キャビネットを取付けます。

8.0 故障と対処（トラブルシューティング）

⚠ 本機の点検、修理の際は、必ず、本機を止めて電源プラグを差し込みから抜いて下さい。

故障かなと思ったら、電話の前に次の事をチェックしてみて下さい。

状況	考えられる原因	対　処
圧が上がらない	・エアーが混入	●システムのエアー抜きをする。
		・スプレガンの短時間での開閉を数回繰り返す。
		・本機から高圧ホースを外して、運転する。
	・高圧ノズルの詰り/磨耗	●高圧ノズルの清掃/交換。
	・洗剤タンクが空	●洗剤を補充/洗剤量調節ダイヤルを”0”にする。
圧が脈動する	・エアーかみ（自吸モード時）	●本機給水口から給水ホース先端までの間のエアーかみをチェック。
		・給水ホース先端部が水面から出ていないか？
		・溜め水に蛇口から水を補充している場合、水タンク内に泡が発生していないか？
	・給水量不足	●水栓を十分に開く。
	・給水ホースが長過ぎる/細過ぎる	●本機の吐出水量に見合った給水ホースにする。
	・フィルタ詰りによる給水量不足	●給水口のフィルタを清掃/交換。 ㊟給水口フィルタを外しての使用は禁止。
	・自吸高さが高過ぎる	●自吸高さをチェック。
スイッチをオンにしても始動しない…無反応	・電源プラグ適切に差し込まれていない…電気が通じていない	●プラグ、コード、スイッチ類のチェック。
		・必要ならそれらを交換。
	・ブレーカのヒューズ溶断/オフ	●ブレーカのヒューズ交換/スイッチオン。
スイッチをオンにしてもモータがうなり、始動しない	・電圧が低過ぎる/単相運転	●電気の専門家にチェック依頼。
	・ポンプがロックしているか凍結	●販売店に連絡。
	・延長コードが細過ぎる/長過ぎる	●延長コードを外す/延長コードの容量を上げる。
モータが止まる	・過負荷/オーバーヒートでモータプロテクションが作動	●電源の電圧、Hzチェック。
		・スイッチを切り、モータが冷えるのを待つ。3分以上。
	・高圧ノズルの汚れ/詰り	●高圧ノズルの清掃/交換。
洗剤が吸引されない	・洗剤タンクが空	●洗剤を補充。
	・ランスが低圧にセットされていない	●低圧にする。
	・洗剤インジェクタの汚れ、洗剤吸引ホース/フィルタの詰り	●清掃。

上述で解決できない故障については、販売店に連絡下さい。

9.0 主要諸元

機種		Poseidon 5-47PA		Poseidon 7-67FA	
Hz		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
コード番号		107146702	107146703	107146804	107146805
ポンプ圧		17MPa		19.5MPa	
吐出水量（高圧時/低圧時）		890/980 ℓ/時		1180/1280 ℓ/時	
		14.8/16.3 ℓ/分		19.7/21.3 ℓ/分	
バイパス・アンローダシステム		PA（プレッシャアクチベーテッド）		FA（フローアクチベーテッド）	
ノズルサイズ		0500		0680	
給水許容温度 Max		60℃		85℃	
許容給水圧	給水装置使用	～1MPa		0.15＜1MPa	
	自吸モード			～1MPa	
自吸高さ Max		2m		2.5m	
ポンプオイル量		0.73 ℓ		1.1 ℓ	
オイルタイプ	タイプ	BP Energol GR-XP220		Castrol ALPHASyn 150	
	品番/相当品	107144146/ギヤオイル75W-90		5218433/相当品なし	
適応電源		三相 x 200V		三相 x 200V	
消費電流		17.7A		28A	
馬力		4.9kw		8kw	
モータ回転数		1450 rpm	1750 rpm	1450 rpm	1750 rpm
高圧ホース		10m（DN8）		10m（DN10）	
ガン		Ergo 2000		Ergo 2000	
ダブルランス		トルネード プラス		トルネード プラス	
洗剤タンク		2.5ℓ x 2個		2.5ℓ x 2個	
オートスタート・ストップ装置		1-ステージ（タイマ式）		2-ステージ（タイマ式）	
ポンプオイル点検・警告装置		外部からの点検窓		外部からの点検窓	
				オイル不足自動警告装置	
電源コード		5m		8m	
機体寸法 LxWxH（㎜）		735x570x1020		775x570x1020	
機体質量		71kg		91kg	

外装・仕様は、予告なく変更する事があります。

配線図は、本機エレクトリカルボックス内に納めてあります。
紛失したり汚したりしないでそのまま大切に保管下さい。

◆ アフターサービスと保証について

○　使用中にトラブルが発生した場合､修理を依頼される前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、点検してください。そのうえで回復しない場合には、ご自分で修理なさらないでお買い求め先までご相談ください。

保証内容と期間

○　ご購入頂いた日から２年間を保証期間とし、保証期間中に発生した故障は原則として無料修理させていただきます。保証の対象は本体のみです。高圧ホースやノズルなどアクセサリー類は保証の対象外です。

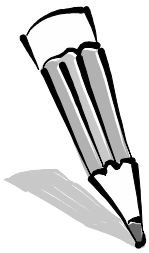
保証できない事項

○　取扱の間違いによる故障
○　メーカーが想定している使用条件を超えた使用によるもの、水の供給不足、電源の供給不足、電圧降下など外的要因に起因するもの
○　改造に起因したもの
○　純正部品以外を使用した場合
○　使用者の不注意に起因するもの
○　経年変化に起因するもの
○　風水害等の天災に起因するもの
○　気温低下による凍結に起因するもの
○　薬品、塩害等に起因するもの

保証の対象外の事項

○　パッキン、0-リング、バルブ、チューブ、油脂類等の消耗品
○　本体以外のパーツやアクセサリー
○　本機を使用できなかったことによる不便さや損失







Nilfisk
ALTO
works for you

ニルフィスク アドバンス株式会社

本　社	〒223-0059　横浜市港北区北新横浜 1-6-6 TEL 045 (548) 2571　　FAX 045 (548) 2541
札幌支店	〒007-0802　札幌市東区東苗穂 2 条 3 丁目 5-51 TEL 011 (786) 0201　　FAX 011 (786) 0222
仙台支店	〒981-3311　宮城県黒川郡富谷町富谷字大清水下 45-2-101 TEL 022 (343) 9815　　FAX 022 (343) 9816
大阪支店	〒579-8037　大阪府東大阪市新町 20-38 TEL 072 (987) 5558　　FAX 072 (987) 5575
名古屋支店	〒485-0044　愛知県小牧市常普請 1-159 TEL 0568 (65) 8840　　FAX 0568 (65) 8850
物流・サービス	〒223-0059　横浜市港北区北新横浜 1-6-6 TEL 045 (548) 2514　　FAX 045 (548) 2519